

2019年度

法人事業計画書

社会福祉法人 からし種の会

1. 法人の理念

からし種の会は、キリストの愛と自由の精神に基づき、利用者の人権とその方の意思の尊重を重視していきます。安心して利用いただける環境づくりに努めるとともに利用者との契約に基づき、利用者本位の質の高いサービスが総合的に提供されるよう創意工夫していきます。

それにより利用者が個人の尊厳と意志決定を尊重した、安全安心で快適な自立した生活を営むことができるよう支援していきます。また、社会福祉法人としての公共性のもとに、地域社会に開かれた運営をめざします。

「わたしの父には住むところがたくさんある。もしなければ、あなたがたのために場所を用意しに行くと言ったであろうか。行ってあなたがたのために場所を用意したら、戻ってきて、あなたがたをわたしのもとの迎える。こうして、わたしのいる所に、あなたがたもいることになる」

(ヨハネによる福音書 14 章 2 節～3 節)

2. 法人の経営方針

法人の理念に沿った実践を展開していくためには、安定した持続可能な経営基盤を目指す財務収支の均衡と高い専門性をもって利用者や地域に仕える人材育成が不可欠です。一方で、介護人材の確保のためには、快適な職場環境の形成が不可欠です。そのことから次の経営方針を定め、事業を推進していきます。

- 1 利用者にとって、そのご家族にとっても安全、安心、快適な生活づくり
- 2 職員にとって、安全、安心、働きがいのある職場環境づくり
- 3 行政、医療、福祉との連携と地域との共生
- 4 持続可能な財政基盤の確立

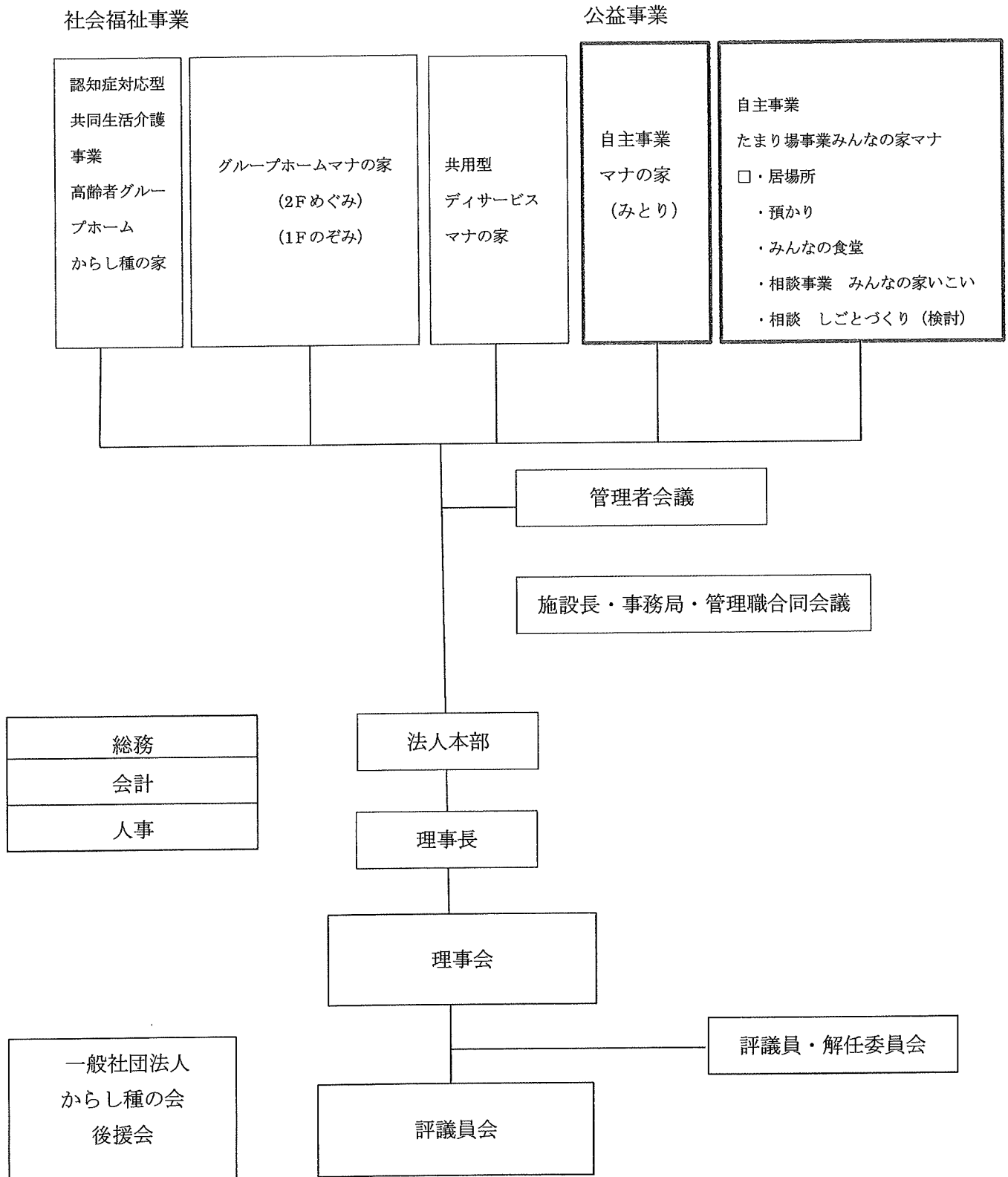
3. 2019年度の事業方針・重点的取組課題

(1)

からし種の会	指定事業所番号	指定事業所	事業所名	定員
社会福祉事業	1570102481	認知症対応型共同生活介護	高齢者グループホームからし種の家	9名
	1590100697	認知症対応型共同生活介護	グループホームマナの家 (2018.4.5 増床 開設)	18名
	1590100697	共用型認知症対応型通所介護	共用型デイサービスマナの家	3名
公益事業		(法人の独自事業・自主事業)	<ul style="list-style-type: none"> ○ マナの家 (みとりのいえ) 3名 ○ たまり場みんなの家マナ 毎週月曜日 10:00～15:00 ○ 預かり (上記開催時間内 2名まで) ○ みんなの食堂 (月 1回 10:00～14:00 朝食、昼食 (夜の場合 17:30～20:00 年 3回)) ○ みんなの家いこい (検討) 	

3.組織図

2019年度 社会福祉法人 からし種の会 組織図表



5. 評議員及び役員等の構成

評議員	理事	監事	評議員・解任委員会
7名	6名	2名	3名

※重点目標:2019年度より評議員数を7名とし、評議員及び役員等の構成の適正化を図ります。

6. 評議員会、理事会開催計画

評議員会	第1回	2019年6月下旬	前年度事業報告書、会計決算報告、 理事選任、定款変更、その他
	第 回	2020年3月 日	定款変更等 その他

理事会	第1回	2019年6月初旬	事業報告書、会計決算報告書、定時評議員 会日時・場所・議題等の決定、役員 の提案
	第2回	2019年6月下旬	理事長及び業務執行理事の選定、評議員選 任・解任委員の選任の決定、
	第3回	2019年12月中旬	資金収支補正予算、定款変更 その他
	第3回	2020年3月下旬	事業計画並びに資金収支予算、その他

※その他、必要の都度開催

7. 法人借入金償還計画（元金）

借入先	当初借入額	2019年3月末		2020年3月末		備考
		償還済額	当期償還額	借入残額		
福祉医療機構	63,200,000	29,178,000	3,492,000	30,530,000		既存マナの家
	85,000,000	1,154,000	4,452,000	79,394,000		増床マナの家
第四銀行	15,000,000	0	786,000	14,214,000		増床マナの家
計	163,200,000	30,332,000	8,730,000	124,138,000		

8. 社会福祉充実計画

残額総額	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4年度目	5年度目	合計	社会福祉充実 事業未充当額
46,260千円	21,144千円	12,544千円	6,044千円	3,044千円	0千円		0千円
うち社会福 祉充実 事業費	増設・自己資金 職員確保・給与 等の増額研修	職員確保・研修 新規事業整備 既存事業整備	職員確保・研修 既存事業整備 車両購入	職員確保・研 修	職員確保・研 修	△ 46,260 千円	0千円

9. 各事業所職員配置計画

	グループホーム からし種の家 (1ユニット)		グループホーム マナの家 (2ユニット)		共用型デイ マナの家 (定員3名)		自主事業 マナの家(みとり) たまり場		法人 事務局	
	常 勤	パート	常 勤	パート	常 勤	パート	常 勤	パート	常 勤	パート
施設長 管理長	1 (兼務)		1 (兼務)					1 (兼務)		
計画作成担当者			2							
介護職員	6		9	3		2		5		
看護師		1 (兼務)		1 (兼務)		1 (兼務)		1 (兼務)		
事務長代務										
事務主任									1	
事務員									1	

10. 各事業利用状況 2019年度稼働率

2019.3.1現在

	グループホーム からし種の家			グループホーム マナの家			共用型デイ マナの家 (3名)			公益事業 (法人自主事業) マナの家 他		
	定員	現員	2019 稼働率	定員	現員	2019 稼働率	定員	現員	2019 稼働率	定員	現員	2019 稼働率
入居	9名	8名	97%	18名	17名	97%				3名	2名	97%
通所							3名	1名	75%			
預かり												
計	9名	8名		18名	17名		3名	1名		3名	2名	

11. 本部事業計画

<法人本部>

(1) 基本方針

法人事務局の業務は、理事長の指示事項を含む次の分掌業務があることを認識し、正確かつ組織的に業務を遂行する。

- ①働き方改革の取組みに関する事
- ②職員採用の取組みに関する事
- ③福利厚生の見直しに関する事
- ④業務の見直しに関する事
- ⑤勤務体制の見直しに関する事
- ⑥福利厚生の見直しに関する事

(2) 重点

- ①働き方改革の取組み事項に的確に対応していく。
- ②各事業との連携を強化し各事業が安心して運営できるように進める。

<総務>

(1) 基本方針

理事会、評議員の開催を円滑に行うとともに、それに伴う次の分掌業務があることを認識し、正確かつ組織的に事務処理を行う。

- ①理事会及び評議員会に関する事
- ②法人の文書管理に関する事(諸規程の整備)
- ③法人の許認可等各種申請に関する事(定款等)
- ④法人の人事管理に関する事(福利、労災、人事発令等)

(2) 重点目標

- ①働き方改革に伴い、諸規程の整備を適正に行っていく。

<会計>

(1) 基本方針

利用者が安心・安全な生活を送るために、各事業において掲げた稼働率の達成に努め、情報を共有しつつ、会計基準を遵守した財政体質の強化を図る。各事業管理者等担当者との連携を強化し計画的な予算執行を進める。そのため分掌業務があることを認識し、正確かつ組織的に業務を遂行する。

- ①法人の総括予算・決算に関する事
- ②法人の会計に関する事(支払業務に伝票入力含む)
- ③法人の職員給与に関する事

(2) 重点目標

- ①法人の会計に関する事を2019年度より法人にて会計処理を行う。
- ②さくら会計事務所より巡回指導、診断を受け、法人経営の健全化を図っていく。

<人事>

(1) 基本方針

法人の「基本理念」の理解を深め、その具現化を図る職員を育成する。

同様に、創立の精神と事業を継承する職員を育成する。

(2) 重点目標

① 職員の要望に応え、痰吸引等研修（第一号・第二号研修）の実施を行う。

② 認知症介護実践者研修、認知症対応型サービス事業管理者研修者の着実な育成。

<地域福祉>

(1) 基本方針

社会・地域福祉の充実と発展を図るために、法人の経験、知識、技術等を地域社会に提供していく。開かれた地域の家（みんなの家マナ、いこい）の資源を有効に活用しながら、支え合いの地域づくりを目指し地域住民と共に実践していく。

(2) 重点目標

① 定着してきた「赤ちゃんから障がいある方、お年寄りまでのたまり場」事業、みんなの食堂等が一層地域に開かれ、必要とされる場所になることをめざす。

<新規事業>

事業	福祉車両の整備事業
目的	利用者の生活の質の向上と安全な送迎ができるために
内容	使用中の軽車両が老朽化しかつ、増床に伴い車いす使用時も数人が乗車できる車両が必要である。社会福祉充実計画に沿って購入。

事業	ケア・記録システムのあり方検討事業
目的	グループホーム等でより使いやすいソフトは何かを検討し、計画作成担当者の業務負担の軽減につなげる。
内容	使用中のケアのための記録ツール「新・KOMI レーダーチャート」、「新KOMI チャート」等の備品を検証する。

事業	応研会計ソフトの見直し、あり方検討事業
目的	働き方改革に対応可能な会計ソフトの検討を行う
内容	応研会計ソフトの見直しも含め、検討を行う。

事業	要支援者等の避難場所としての活用、連携整備事業
内容	みんなの家いこいの活用を検討、学び連携して備える
目的	みんなの家いこいが災害時に要支援者等を受容れる場所としてどう活用できるかを地域住民と学び連携して備えていく。

高齢者グループホームからし種の家 2019年度事業計画

基本理念

本事業は、キリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 地域とかかわりながら暮らす。
3. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
4. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

入居されている方それぞれの生き方や価値観を尊重し、入居者とご家族を含め職員それぞれがお互いに認め合う。

行動計画

1. 思いのある言葉や行動に気付き、相手の立場に立って支援する。

<具体策>

- ・一人ひとりの発した言葉を記録に書きとめ担当者会議や職員会議でご本人の生活のあり方について考える。
- ・入所前に今までの暮らしや生活歴を家族から聞きとり、職員へ伝達する機会を持ち、入居者がいままでの暮らしを出来るだけ継続できるよう支援する。

2. 相手の気持ちを思いやり、考え、支援する。

<具体策>

- ・日々、入居者一人ひとりと向き合い、訴えに耳を傾け、その思いを受け止める。決して受け流さない。その思いをケース記録に残す。
- ・常に自分の身に置き換えて考える習慣をつける。
- ・排泄、入浴、また、一人になる時間等プライバシーに配慮した支援を心がける。
- ・モニタリングやアセスメントの時にその人の気持ちについて振り返るようにする。

3. 言葉かけ等、接遇マナーを見直し、皆で再確認する。

<具体策>

- ・言葉かけ等、接遇マナーを振り返り、職員同士お互いに気付いた時に言い合える環境を整える。
- ・言葉遣いやマナーについて不適切なことがないかチェックリストを制作し定期的に点検する。
- ・常に丁寧語で話すことを習慣づける。
- ・接遇やマナーについての研修の機会を設ける。

4. ご家族や地域の意見や希望の把握に努める。

<具体策>

- ・意見箱の場所や意見書を見直し、要望の把握に努める。
- ・ご家族が来訪された時は介護職員も「お気づきの点はありませんか」と聞くように徹底しコミュニケーションの充実を図る。
- ・行事の曜日を見直したり、ご家族も一緒に参加できるような行事を企画し案内を出したり声掛けしていく。

5. 入居者同士の交流が深まるよう支援する。

<具体策>

- ・座席の位置を工夫し入居者同士の交流が深まるようにする。
- ・みんなの食堂以外でもマナの家に訪問へ行き交流が深まるよう支援してく。

2019年度重点目標の具体的方策

高齢者グループホームからし種の家

1. その人らしい言葉や行動からご本人の生活のあり方を考える。
2. 一人ひとりの発した言葉を記録に残しておく。
3. 生活の継続性の把握に努める。
4. 日々、入居者一人ひとりと向き合い、訴えに耳を傾け、その思いを受け止める。決して受け流さない。
5. 常に自分の身に置き換えて考える習慣をつける。
6. 排泄、入浴、また、一人になる時間等プライバシーに配慮した支援を心がける。
7. 言葉かけ等、接遇マナーを振り返り、職員同士言い合える環境を整える。チェックリストを作成し点検する。
8. 自分が学びたい研修へ参加してもらい、職員会議で伝達講習し職員同士知識を共有する。
9. 意見箱の位置を見直しご家族の希望の把握に努める。
10. ご家族が来訪された時は介護職員も日頃の様子をお伝えしご家族との関係が深まるよう努める。
11. ご家族にも行事をご案内し参加できる機会を作っていく。
12. からし種の家行事にマナの家の入居者様を招いたり、マナの家の行事に参加して、入居者同士の交流が深まるようにする。

2019年度年間行事計画

高齢者グループホームからし種の家

	内容	
4月	お花見(桜)と外食、花壇づくり	
5月	笹団子作り	
6月	初夏のお楽しみ会	
7月	防災・避難訓練(消防署・地域の方々の参加による)	
8月	スイカ割り大会	
9月	敬老の日お祝い(おはぎ作り)	
10月	ぶどう狩りと外食	
11月	福祉バザー	
12月	年忘れお楽しみ会、ゆず湯、大掃除、合同クリスマス会	
1月	お正月	
2月	節分、避難訓練(ホーム内)、	
3月	ひなまつり	

* 誕生会は当日に実施

グループホーム マナの家 2019年度事業計画

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

基本方針

1. その人の持てる力を引き出す。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し、互いに認め合う。
5. 自由な暮らしを継続支援する。

重点目標

1. 入居者様の個別性を理解し、その人らしい暮らしが継続できるよう支援する。
2. 各ホームやユニット間の交流、地域との交流を充実させる。
3. 緊急時、災害時の備えや協力体制を地域と一緒に強化していく。

行動計画

1. ご本人の心身の状況や要望を把握し、職員間での共有、ご家族と連携しながら一人ひとりがその人らしくマナの家で暮らしていけるよう支援する。

<具体策>

- ①過去の生活歴やご自宅での様子、要望をご本人やご家族からお聞きしたり、習慣等で気づいたことを記録する。変化や要望に対応できるよう日々の申し送りや職員会議等で検討し、実施した結果もわかるようにケース記録やケース検討録に記録し、全職員が閲覧することで情報の共有に努める。
- ②家事や趣味活動、日常動作等生活上の様々な場面において、ご本人の能力を引き出す機会を維持し、できるところを見極める。できるだけご本人の暮らし方を尊重するよう関わっていく。
- ③3ヶ月ごとに発行する暮らし日記や面会時・電話連絡、サービス担当者会議等で日々の様子を伝えながらご家族と一緒にご本人のことを考えていく。丁寧な接遇に努め、行事にもお誘いする等し、ご家族との信頼関係を深められるように努める。
- ④計画した外出、行事以外でも普段の会話の中から思い出の場所や通い慣れた場所への外出や個々の希望に沿った外出支援を行っていく。

2. 各ホームやユニット間の交流、地域との交流を充実させる。

<具体策>

- ①「たまり場」、「みんなの食堂」への参加の際には地域の方と関われるように支援していく。
- ②合同での外出や行事を計画していく。
- ③日常的にユニット間の行き来や、ボランティアの来訪時には合同で参加するなど交流を増やす
- ④合同の職員会議を開催し、各ユニットのご利用者様の情報を共有する

3. 緊急時、災害時の備えや協力体制を地域と一緒に強化していく。

<具体策>

- ①地域の方との災害に関する学習会を開催し、協力体制が得られるよう働きかける。
- ②各種災害マニュアルに沿った避難訓練の実施、実際の建物・ご利用者の状況を確認し、マニュアル間の連携等実践に即した訓練を行う。
- ③各種災害マニュアルの内容を見直す。改善点や変更点があれば修正する。
- ④各ユニットで災害時の備蓄を充実させる。

グループホーム マナの家 2019年度 年間行事計画

	内容	備考
4月	イースター 創立記念日 お花見	お茶会
5月	花壇作り (地域の方、家族と共に)	誕生日会
6月	笹団子・ちまき作り (地域の方と共に)	お茶会
7月	七夕祭り (地域の方と合同) 避難訓練	誕生日会
8月	有明地区ふれあい祭り	誕生日会
9月	有明地区防災訓練参加 敬老のお祝い	誕生日会
10月	ぶどう狩り	お茶会
11月	有明地区合同作品展・福祉バザー 干し柿作り	お茶会
12月	クリスマス会 大掃除 お正月準備	誕生日会
1月	新年のお祝い	お茶会
2月	節分 避難訓練	お茶会
3月	ひな祭り おはぎ作り	お茶会

お誕生日を迎える方の月はお誕生日会を実施、
その他の月はお茶会として季節のお菓子とともに集う

共用型デイサービスマナの家 2019年度事業計画

基本理念

本事業はキリストの愛と自由の精神に基づき、一人ひとりのその人らしい暮らしを自立・継続支援していくことをめざす。

活動方針

1. 自己決定、自己実現ができる。
2. 制約されないケア。
3. 地域と関わりながら暮らす。
4. 生き方や価値観を尊重し認め合う。
5. 自由な暮らしを支援する。

重点目標

1. 在宅からデイサービス利用を通して、馴染みの環境での入居に結びつけられる継続支援を行っていく。
2. 共用型デイサービスの利用を継続していただき、稼働率80%を維持する。

行動計画

1. 居宅介護支援事業所や他のサービス事業書を含めご家族との情報共有に努めていく。

<具体策>

- ・ サービス担当者会議、毎月の評価以外にも、利用中の様子を居宅介護事業所等に報告・相談を行い、情報を共有、変化に早めに対応する。
- ・ 送迎時に自宅での様子を伺い、またサービスご利用中の様子をお伝えし、情報共有することでご利用者様の状態やご家族の希望に対して対応できるように努める。
- ・ 情報を確実に職員間で共有するよう日誌や連絡帳へ要点をわかりやすく記入すること、閲覧を徹底する。

2. グループホーム入居者様やボランティアや地域の皆様との関わりを絶やさず、顔なじみの関係を継続していく。

<具体策>

1. 定期的に来てくださっているボランティア活動・地域の行事やグループホームでの行事に他のご利用者様と一緒に参加し、共通の思い出を作っていく。
2. デイサービスでの日々の記録を暮らし日記にして3ヶ月毎にご家族に配布する。
3. 新規の方が利用継続できるよう、送迎の手順、過ごし方、雰囲気作りを工夫する。利用前にご本人、ご家族、ケアマネージャーを踏まえ、要望の聞き取り、支援方針を検討し、職員間でも共有する。利用後もご本人、ご家族の思いを確認しながら支援方法見直していく。

地域福祉事業 マナの家・みんなの家 2019年度 事業計画

基本理念 親子が地域で安心して子育て・子育てができる。
障がいがあっても、老いても、安心して住み慣れた地域でずっと暮らせる。
地域で支え合い、地域で育て、地域で見守るたまり場を提供し、交流を図る。
赤ちゃんからお年寄りまで（1日2名まで）、安心して預かることができる。

重点目標

1. マナの家（みとり支援）

- ①年2回程度（夏、冬）利用者と家族及びスタッフの交流会を開催し、要望など聞きながらより充実したマナの家の運営をめざす。
- ②住み慣れた地域で、尊厳をもって、その人らしい自立した安心で安全な生活を継続してゆくことができるよう支援し、家族にとっても居心地のよい自由な居住環境を一緒に整えていく。
- ③利用者の状況に合わせて、居宅サービス等を上手に組み合わせながら、自立支援を行っていくとともに、入居者の潜在能力を活かし、地域の方々との交流を行いながら充実した日々が送れるよう支援していく。
- ④そのため、地域医療ならびに関係機関とよい信頼関係を築きつつ、担当者会議等を持ちながら、情報を共有してサービス提供していく。
- ⑤看取り介護の充実を図るため、主治医やケアマネージャー、訪問看護や訪問入浴、地域ボランティア等との連携強化に努め、本人とご家族の意向に添える安らかな自然死を迎えることができるよう支援する。
- ⑥100%の稼働率を目標に、自主事業としての健全な経営をめざす。

2. たまり場事業 みんなの家マナ

- ①赤ちゃんから障がいがある方・お年寄りまで地域住民やホーム利用者等が喜んで参加・交流しながら共に支え合う、居心地の良い居場所づくりを推進する。
- ②みんなの食堂を月1回、年間を通して開店する。（別紙参照）
- ③わくわくプロジェクト運営会議を隔月に開催し、円滑な運営をめざす。

3. 相談・しごとづくり事業（仮称みんなの家いこい）

- ①法人事業計画案の〈地域福祉〉を参照

3. みんなの家（エクレシア）

- ①地域に開かれた日曜さんび礼拝を毎週、ささげていく
からし種の家 2時半（午後1時半の場合もある）マナの家（午後2時半）
- ②礼拝説教奉仕を引続き、中西康之牧師、佐藤静子牧師、小淵康而牧師に協力依頼する。

2019年度 たまり場・みんなの食堂年間計画

月	たまり場 (月曜)	みんなの食堂	イベント等
4	1・8・15 (3回)	22 夕食	
5	6・13・20 (3回)	27 夕食	絵本の読み聞かせ
6	3・10・17 (3回)	22 朝食・昼食	
7	1・8・22 (3回)	27 朝食・昼食	陶芸教室 プール遊び
8	5・19・26 (3回)	23 夕食 (納涼祭)	絵本の読み聞かせ
9	2・9・30 (3回)	21 朝食・昼食 (敬老祝い)	
10	7・14・21 (3回)	28 夕食	みそ作り 絵本の読み聞かせ
11	11・18・25 (3回)		3 合同バザー、販売
12	2・9・16 (3回)	21 昼食 (クリスマス食堂)	25 合同クリスマス会
1	6・20・27 (3回)	25 朝食・昼食	絵本の読み聞かせ
2	3・10・17 (3回)	29 朝食・昼食	
3	9・16 (2回)	23 夕食	見学研修

月曜開催
計 35回

みんなの食堂開催
計 11回 (朝昼6回、夜5回)

- ・わくわくプロジェクト運営会議 2ヶ月に1回開催
- ・職員、ボランティア研修参加 (見学研修等)



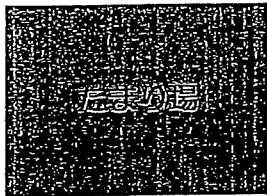
たまり場・みんなの食堂 開催予定



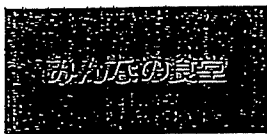
2019年度

4月	たまり場	1日	8日	15日	29日はお休み
	みんなの食堂	22日(月) 夕食(17:30~20:00)			
5月	たまり場	6日	13日	20日	
	みんなの食堂	27日(月) 夕食(17:30~20:00)			
6月	たまり場	3日	10日	17日	24日はお休み
	みんなの食堂	22日(土)	朝食(7:30~10:00)		昼食(11:30~14:00)
7月	たまり場	1日	8日	22日	15日、29日はお休み
	みんなの食堂	27日(土)	朝食(7:30~10:00)		昼食(11:30~14:00)

※8月以降の予定は6月頃お知らせいたします。



10:00~15:00 (いつ来ていつ帰っても構いません)
 参加費 200円 昼食代 300円
 どなたでも参加できます!
 ☆赤ちゃん(首が座った頃~)からお年寄り(要介護の方)まで
 預かりもしています。1時間500円。予約制です。



朝食 200円 (未就学児 無料)
 昼食・夕食
 おとな 300円 子ども 200円 未就学児 無料

※日程の変更やイベントのお知らせは
 ホームページでご確認ください。

新潟 からし種の会

検索



お問い合わせは
 TEL 025-201-7688ま
 で。
 (担当 西村・滝澤)
 場所は西区西有明町
 2-5マナの家1階です
 お気軽に遊びに来て
 ください♪

